



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net



夏木立の下で涼む尊徳さん（報徳会館脇：8月27日）

子育て・親育ちの茶話会

～ 夏休みお楽しみ会 ～

発達障がい支援者連絡会から生まれた「茶話会」、毎月第2月曜日、報徳今市振興会館の大広間で開いています。午前10時からお昼まで、子育ての悩みなどを話し合ったり、お母さん自身が、自分をみつめる簡単なゲームをしたり、「ひとりで悩まず、みんなで！」を合い言葉に気軽に集まり、息抜きの時間になったらという趣旨で始まった会です。

8月で第14回を迎えました。夏休みということで、今回は会場を「まにまに工房」に移し、「親子でいっしょに楽しむ会」を開きました。午前10時頃からお昼の準備。餃子とフルーツポンチを作ろうということになり、子どもを交えての買い物、餃子作り。子どもとお母さんがいっしょ

に、自分の役割を見つけて食事を作り、おいしくいただきました。片付けも協力してできました。

午後はゲームやスイカ割りで、楽しい1日を過ごし、3時に解散しました。「またやりたい！」と、子どもたちからの声。「なにより、子どもの笑顔が良かった」と、参加者の感想がありました。こんなイベントも交えながら、これからも「茶話会」を続けていきたいと思えます。

なんとなくのにお携帯電話 090-3227-7079 へお気軽にお問い合わせください。

会場：報徳今市振興会館

日時：毎月第2月曜日（午前10時～お昼）

参加費：300円（お茶代）

次回 10月11日（月）は祝日。野外茶話会です。

「パークゴルフに親子で挑戦！」

午前10時30分、だいや川公園に集合。

参加費：1人 500円

子どもたち参加で餃子作り

だんだん手つきもよくなってきた

みんなでおいしくいただきました



目次

| | |
|---------------|---|
| 子育て・親育ちの茶話会 | 1 |
| むかしばなし玉手箱 | 2 |
| 子育て・親育ち勉強会 | 2 |
| 活動日誌 | 3 |
| こんな本はいかが？（番外） | 4 |



居場所のひとつ

いつもの夏は風通しがよくて涼しい居場所。だけど、今年は違った！ 扇風機を購入させていただきました。

近年は夏休みも開所している なんにわ。学童保育には通っているけど、「宿題を静かなところでやりたい」、「部活が休みだから」などの理由で来てくれることも恒例になりました。(N)

写真：活躍した扇風機とこれから活躍するファンヒーター

2 なんとなくのひろば

「むかしばなし玉手箱」・・・花岡さんへのインタビュー

「報徳会館のような、昔懐かしい環境でお話を聞く会があるといいですね」。そんな思いから、花岡さんにお話の会をお願いして、もう5年が経ちました。それから毎年6月に大広間で「むかしばなし玉手箱」が開かれています。

花岡さんの「素話」への思いを伺いました。

・「読み聞かせ」と「素話」との違いはなんですか？

素話は聞く人の目を見てお話を届けるもの。そのためにしっかりリハーサルをして、光線の具合も考えて、準備万端整えるのです。

・花岡さんの素話に寄せる思いとは・・・

素話は聞く子どもの発達段階に応じて子どもの心に届くもの。自分の心の中で想像と創造を繰り返しながら聞いてほしい。子どもたちは自分の心を重ねた聞き方ををしているはず。人生の予行練習をしてほしいという願いを持っています。たとえば、お話から自分の恋愛に重ねることもできるし、人間の価値について考えることもできるのです。

(白井)



第4回「むかしばなし玉手箱」ではなおかひろしさん

特定非営利活動法人 なんとなくのにわ

「なんとなくのにわ(なんにわ)」は、不登校の子供達のための居場所...
 「なんとなくのにわ(なんにわ)」は、不登校の子供達が、家にこもらず外へ目をむけて、なんとなく遊びに来れるようなそんな場所です。
 不登校やひきこもりだった子の親が中心になって作られました。なので親だけで相談にきててもかまいません。
 子供達は、自由に好きなことをしてよいです。ひげめなど感じずいられるところです。
 今市市の報徳今市振興会館というところで毎週火・金曜日(10:00~16:00)に開かれています。
 費用は月3000円ですが、はじめの1ヶ月間は無料です。見学自由です。気軽にきてみてください。
 詳しい内容はメニューの項目を選んで見てください。

今月・来月のなんにわイベント！

- 第29回サイエンス・カフェ「科学を生活に生かす」
9月4日午後7時30分～9時に猪倉山泉福寺でおこなわれます。
- 第30回サイエンス・カフェ「川むしたんけん慶」
10月10日(日)に砥川(日光市佐下部)でおこなわれます。

詳しくは活動予定をどうぞ！

| | |
|---|---|
| <p>開館日 毎週火・金曜日 (10:00~16:00) 報徳今市振興会館 基本的に祝日は休みとなります。 9月の休みの日：なし</p> | <p>なんにわメニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめにお読みください ●どんなことをすると？ (活動内容説明) ◎報徳会館(活動場所) ●場所・連絡など (なんとなくのにわのポスター) ●活動予定 更新 ●活動日記・活動報告 (プライバシーの問題があるので名前と顔は出しません。問題があるようでしたらメールでお知らせください。) ●なんとなくのにわに対する記事など ●年4回発行「なんとなくのひろば」 ●リンク ●かんりにんのにわ(英) ◎更新履歴 <p>更新日時：2010/9/10</p> |
| | <p>【なんにわイベント】</p> <p>第29回サイエンス・カフェ 科学を生活に生かす 9月4日午後7時30分～9時に猪倉山泉福寺でおこなわれます。 PDFファイル</p> <p>第30回サイエンス・カフェ「川むしたんけん慶」 10月10日(日)に砥川(日光市佐下部)でおこなわれます。 PDFファイル</p> |

子育て・親育ち勉強会 第7弾

日光市子ども発達支援センターの山崎育さんを講師に迎え、「子育て・しつけ」をテーマに、発達障がいへの理解につながる話をいただきました。

参加者の感想から

■参加してよかった。次回は主人も連れてくるようにがんばります。■悩んでいるのは自分一人じゃないんだ！皆さんそれぞれに悩みや心配がある中で、頑張っている。皆さんの話が聞けて、とても励みになったし、先生の優しく柔軟い対応が素敵でした。■具体的なアドバイスを頂いて嬉しかった。■褒められた経験の大切さを知った。もっと褒めてあげようと思う。いつも自信がない感じなので、たくさん褒めてあげて自信を持たせてあげようと思う。■今後の「勉強会」で就学に向けてのアドバイスなどの内容を期待します。

山崎先生と参加者の皆さんの間で、ゆっくりと話ができて、それぞれの方がなにかをつかんで帰られたのではと思います。ご参加ありがとうございました。(白井)

http://www.nantonakuno.net/ ホームページもご覧下さい。通信バックナンバも読むことができます。

私たちと一緒に活動しませんか。

報徳今市振興会館での「子どもの居場所」運営、「学びサポート」、ホームページの維持管理、子育て相談、講演会やサイエンス・カフェなどイベントの立案運営など、「なんとなくのにわ」はいろいろな方向に活動を展開しています。事業として挙げていても、なかなか継続的に動いていない、「自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動」などもあります。興味をお持ちの方は遠慮なく、電話、メール、ファックスなどで、ご連絡下さい。みなさまの協力をお待ちしています。

これまでの活動の内容は、ホームページ <http://www.nantonakuno.net/yotei.html> などをご覧ください。(手塚)

- 6月 7日 (月) 通信・なんとなくのひろば 第20号発行
- 6月14日 (月) 茶話会 (第12回)
- 6月19日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会 (宇都宮)
- 6月20日 (日) ベリー会
- 6月28日 (月) 発達障がい支援者連絡会 (第50回)
- 7月12日 (月) 茶話会 (第13回)
- 7月18日 (日) JC 元気アッププロジェクト (だいや川公園) に参加
- 7月24日 (土) 子育て親育ち勉強会 (第7回) 講師: 山崎さん
- 7月24日 (土) ワカモノ・フェスタ実行委員会 (宇都宮)
- 7月25日 (日) ベリー会
- 7月27日 (火) 報徳会館・沼尾くんライブ
- 8月 5日 (木) ~ 8日 (日) 「あさやサイエンス・パーク」に協力
- 8月 9日 (月) 茶話会 (第14回)
- 8月21日 (土) ワカモノ・フェスタ実行委員会 (宇都宮)
- 8月29日 (日) ベリー会
- 9月 4日 (土) サイエンス・カフェ (29) 「科学を生活に生かす」 講師: 田原博人さん



JC 元気アッププロジェクト
紙トンボを作っています

参加者募集! 川むしたんけん隊 (サイエンス・カフェ 30)

協力: 今市の水を守る市民の会 講師: 塚崎庸子さん

日時: 2010年10月10日(日) 雨天中止 午前10時 現地集合~午後2時

場所: 砥川 (日光市佐下部)・「毎日クリスマス」(デイホーム) 駐車場集合

■ 昼食は持参してください ■ 小学生は大人同伴でお願いします

(担当: 手塚) 申し込みは Fax : 0288-21-2631 またはメール(4ページ)でお願いします。

発達障がい支援者連絡会

発達障がいを持つ子の親、学校関係者、市民団体等が自由に意見交換を行い、今できることに取り組んでいく集まりです。毎月第4日曜日、午後7時から、日光市民活動支援センターで開いています。どなたでも参加自由の会。気軽にご参加ください。

(担当: 西尾・白井) 連絡: 090-3227-7079

ワカモノ・フェスタ 2010

12/5(日)

日時 2010年12月5日(日)
午前10:00 ~ 午後6:00

場所 宇都宮市駒生1-1-6
【受付9:30開始】
とちぎ青少年センター (アミークス)
Tel. 028(624)1488

参加費 500円
※中学生以下 無料

不登校している人や、もともと持っているみんな、それに今悩んでいる真っ最中の子どもやワカモノたちが、自由に気楽に1日遊べるイベント!

雨宮処凛さんがやってくる! 今年もやります

AKIRA ライブ

ワカモノ/カフェ

1959年日光市生まれ。23歳からニューヨーク、アテネ、フィレンツェ、マドリッドなど、十年ものあいだ日本を離れ、アンディー・ウォーホルから奨学金を受ける。アジア、中東、アフリカ、南米など世界80カ国を旅し、小説家、画家、ミュージシャンとして多彩な作品群をつくりつづける。

- しゃべり場
 - バンド演奏
 - 手話教室
 - 楽健法
 - フリーマーケット
 - 剣詩舞 など
- 楽しい企画をたくさん用意してお待ちしています(^o^)

パンクラス太田さんの格闘技教室
「格闘技」って聞くとちょっとコワイけど、エクササイズでコロコロカラダもスベキッ♪

お問い合わせ

アートパネル(書いたもの・描いたもの・作ったもの)の展示スペースがあります♪ 展示作品、募集します!!!

主催 ワカモノ・フェスタ実行委員会
【電話】 090-7269-4494 (加藤)まで
【メール】 wakaf11@gmail.com
【ホームページ】 http://www.geocities.jp/wakaf11/

昨年12月6日(日)に、とちぎ青少年センター(アミークス)で行われた「ワカモノ・フェスタ2009」では、参加者が約400名を超え、多くの若者たちでにぎわっていました。今年も、「ワカモノ・フェスタ」を通じて、たくさんの若者に素敵な出会いが訪れたいと思います。現代社会は、不登校・ひきこもり・ニートなど様々なことで苦しんでいる人たちが多くいます。共通して言えることは「生きづらさがある」ということではないでしょうか? 来場した方が、悩んでいる、いないにかかわらず、今の自分をそのまま表現できるようなイベントをめざしています。ちょっと参加してみませんか。

ワカモノ・フェスタ2010

~まなび場サイド「大人の分科会」も同時開催!~

シンポジウム

講演ゲスト 雨宮 処凛さん

【プロフィール】
1975年、北海道生まれ。愛国パンクバンドボーカルなどを経て、00年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版)を出版し、デビュー。以来、若者の「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。06年からは新自由主義のもと、不安定さを強いられる人々「プレカリアート」問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。07年に出版した『生きさせろ! 難民化する若者たち』(太田出版)は、JC賞(日本ジャーナリスト会議賞)を受賞。「反貧困ネットワーク」副代表、「週刊金曜日」編集委員、「フリーター全労働組合」組員、「こわれ者の祭典」名誉会長、09年末より厚生労働省ナショナルミニマム研究会委員。

分科会

- 【高校中退】◇なんとなくのこわ
- 【不登校】◇栃木登校拒否を考える親の会
- 【父の関わり】◇かざぐるまの集い
- 【ひきこもり】◇KHJとちぎベリー会
- 【DV・虐待・生きづらさ】◇サバイバルネット「ライブ」
- 【子どもの居場所】◇交流ハウス亀の島
- 【若者支援】◇とちぎユースワークカレッジ など

このイベントを一緒に盛り上げてくれる仲間(実行委員)を大募集! 中高生も大歓迎!!

主催: ワカモノ・フェスタ実行委員会 共催: 財団法人栃木県青年会館
後援: 各教育委員会(現在申請中)

お問い合わせは Tel. 028-675-4088(学ひ舎コア)まで

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒321-1261 日光市今市378
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631
E-mail: info@nantonakuno.net
ホームページもご覧ください。
<http://www.nantonakuno.net/>



ここにここにっこう！ 日光市子育て支援 HP
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

こんな本はいかが？（番外）読書感想文の思い出

夏休みや冬休みがあると、読書感想文の宿題が出る。いまの学校ではどうなのかよく知らないが、少なくとも私が学校へ通っていたころは宿題になっていた。学年があがるにつれて、だんだん面倒になり、適当に途中まで読んで感想を書いてしまったりもした。同級生の中にはマンガ週刊誌の感想文を持ってきたりするやつがいて、案外それがよく書けていたりするので、しゃくだった。

新聞の読書欄に、出版されていない本の書評集という奇妙な本が紹介されていた。それを読んで、なるほど架空の本の読書感想文なら適当に書けそうだ、本を読まずにすむのではと気付いた。高校の国語の先生が読んでなさそうな、RPGゲームのストーリーをテーマにすることにして、あれこれ考えてみた。ところが考えれば考えるほど、登場人物と物語をきちんと造形しないと感想文は書けそうにない。これでは現実の本を選んで「はじめに」と「あとがき」くらい読み、感想文にした方が早いのではと思ったことがある。

最近はネットに読書感想文用のお勧め図書があり、さらに要約があり、恐ろしいことに、感想文自動生成サイトまである。現代の子どもたちはこんなツールを使って、宿題を仕上げているのだろうか。（H）

Hさんから原稿をいただきました。本の紹介ではないので、「番外」としました。架空の本の書評集というアイデアはボルヘスが有名です。また、スタニスワフ・レムというポーランドのSF作家が「完全な真空」という手の込んだ書評集を書いています。現実にはない本の序文を集めた「虚数」というものもあります。それにしても、感想文を作ってくれるホームページがあるのは知りませんでした。ボルヘスやレムもびっくりの、架空本の感想文生成サイトもネットのどこかに潜んでいるのかもしれない。（読書感想文作成HP）<http://portal.nifty.com/cgi-bin/kanso/bun.cgi> （手塚）

なんとなくのへや

9月はじめのお天気情報で、「9月いっぱいはまだまだ夏だと思ってください」と聞き、このまま冬まで暑い日が続くのだろうか、変なことを考えてうんざり■そんな調子で編集をさぼっているうちに、9月中旬になって雨の日が目立ち、朝夕は涼しい風を感じるようになりました。気を取り直して原稿をまとめ、やっと通信21号が形になりました■9月4日のサイエンス・カフェは「科学を生活に生かす」というテーマでした。講師の田原先生から、日常、「あたりまえ」と思っていることを「なぜだろう」と考えることが、科学への入口だというお話がありました。江戸中期、豊後国東をほとんど出なかったという哲学者、三浦梅園はそれを「枯木に花咲くより生木に花咲くに驚け、石がもの言うより己がもの言うに驚け」と表現したそうです■私たちは日常起きていることに慣れていて、とくに感動も疑問も持たずに生活しています。けれど、子どもの目から見ると「なぜだろう」ということがたくさんあります。その「なぜだろう」を持ち続けることが、科学的思考につながるのだという話もありました■いくら夏が暑くても、きちんと季節が巡り秋や冬がやって来ます。子どもに「なぜ？」と聞かれたら、どう答えるでしょうか。地球の回転軸の傾きを説明すればわからせたことになるのか、地球の回転軸はどうして傾いているのか、突き詰めていくと分からないことがたくさんあるのです。面倒がらず、結論を急がずにゆっくり考えることも、大切なことなのではと思います。（T）

私たちの活動目的：

日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

会員について

正会員：50

賛助会員：20

団体会員：3

入会金はありません。

年会費（一口）：正会員3,000円

賛助会員 個人5,000円、団体10,000円



「なんにわ」活動の約3割は会費でまかなわれています。会員の継続をよろしく願います。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いします。